

情報活用能力育成 モデルカリキュラム (小項目・学習項目例) Ver. 1.1

MCIL: Model Curriculum for Information Literacy

●このモデルカリキュラムは、教育現場の先生方のために、新学習指導要領における情報教育のカリキュラム体系を整理したものです。授業の設計や評価に自由にお使いください。また、教育企業の方も無償で利用できますが、その場合は <http://www.kayoo.info/MC-InfoLiteracy2010/> の「公開にあたっての」留意点を順守ください。

▼モデルカリキュラム (小目標・学習項目例)	Level-1 小学校1・2年	Level-2 小学校3・4年	Level-3 小学校5・6年	Level-4 中学校	Level-5 高等学校
A. 情報活用の実践力					
1. コンピュータ・周辺機器の基本操作					
A11	【ソフトウェア利用のための共通操作】				
A11-1:ポインティング・デバイスを使って、簡単なソフトを進行できる ▼1-010 身の回りの情報機器の操作方法を知る (体験)	A11-2:コンピュータの基本操作やソフトウェアの起動・終了ができる ▼2-010 IDやパスワードを入力して、コンピュータを起動する (技能)	A11-3:ディレクトリ構造をたどってファイルを探す ▼3-010 音声データをパソコン (サーバを含む) に保存する (技能)	A11-4:目的に応じて複数のソフトを切り替えて使うことができる ▼4-010 複数のソフト間でデータのコピー、切り取り、貼り付けを行う (技能)	A11-5:コンピュータと周辺機器を接続し、目的に応じてソフトウェアを活用できる ▼5-010 ソフトウェアを自分の使いやすい状態に設定する (技能)	
A11-200 ポインティング・デバイスを使って、ソフトを起動・終了する (技能)	▼2-020 コンピュータのOSの基本操作やソフトウェアの起動・終了を行える (技能)	▼3-020 ワードプロセッサソフトの中で、データのコピー、切り取り、貼り付けを行う (技能)	▼4-020 プロジェクターを提示するとき、最適に調整する (技能)	▼5-020 コンピュータと周辺機器を接続し、使えるように設定する (技能)	
A11-300 ポインティング・デバイス (タッチパネル等) を使って、ソフトを操作する (体験)	▼2-030 フォルダにデータをコピーする (体験) ▼2-040 フォルダにデータを保存する (体験) ▼2-050 フォルダに適切な名前を付ける (技能) ▼2-060 ファイルを、フォルダを利用して整理する (技能)	▼3-030 目的に応じて、ファイル表示の方法を変更する (技能) ▼3-040 指定されたファイルの位置を、ディレクトリ構造をたどって、みつめることができる (技能) ▼3-050 プロジェクターとコンピュータをつないで表示する (技能)	▼4-030 フォルダの階層構造を考慮してファイルの整理や管理ができる (態度)	▼5-030 情報機器を各種ネットワークに接続する (技能)	
A12 【キーボードからの文字入力】					
A12-1:ポインティングデバイスを使って自分の名前を入力する ▼1-010 ポインティングデバイスを使って、自分の名前を入力する (技能)	A12-2:簡単な文章(50文字以内)を正確に入力する ▼2-010 ある程度の速さで、促音・拗音を含む単語を入力する (体験) ▼2-020 ある程度の速さで、漢字変換しながら入力をする (体験) ▼2-030 簡単な文章(50文字以内)を正確に入力する (体験) ▼2-040 ローマ字入力で、ひらがなを入力する (技能)	A12-3:400字ぐらいの長い文章を正確に入力する ▼3-010 誤入力した文字を訂正する (体験) ▼3-020 半角文字と全角文字を区別して、相互に変更できる (体験) ▼3-030 アルファベットやカタカナなど、必要な入力モードを切り替えて文章を入力できる (技能) ▼3-040 400字ぐらいの長い文章を正確に入力できる (技能) ▼3-050 文章をキーボードから、タッチタイピングで入力する (技能) ▼3-060 ショートカットキーを使って、キーボードでコピー&ペーストができる (技能)	A12-4:ある程度の速さで、指定された漢字かな混じりの文章が入力できる ▼4-010 必要に応じて、入力モードや変換モードを適切なモードに変更する (体験) ▼4-020 ある程度の速さ (10分300字) で、指定された漢字かな混じりの文章を入力する (技能)	A12-5:十分な速さで、漢字かな混じりの文章が入力できる ▼5-010 CtrlキーやAltキーなどの組み合わせを使って、入力モードの切り替えや操作ができる (技能) ▼5-020 十分な速さ (10分500字) で、漢字かな混じりの文章を入力できる (技能)	
2. 情報の収集と加工					
A21 【情報の検索と収集】					
A21-1:身近なところからさまざまな情報を集める ▼1-010 家族や近所の人などの身近な人に必要な情報を聞く (体験) ▼1-020 いろいろな人から情報を集める (体験) ▼1-030 体験学習を通して情報を集める (体験) ▼1-040 多くの情報の中から、似ているものや違うものを見つけ出す (認識)	A21-2:資料やメディアを使って情報を集める ▼2-010 相手の話しを整理しながら聞く (体験) ▼2-020 メモを見ながら、質問事項をインタビューする (体験) ▼2-030 自分の知りたいことをはっきりさせて質問できる (行動) ▼2-040 印刷物・放送・ビデオなどのメディアから情報を集める (体験) ▼2-050 見出しや目次を参考にして、必要な情報を見つけることができる (行動) ▼2-060 ブラウザを使い、インターネット上の情報を閲覧する (体験) ▼2-070 必要な情報を、Webページから見つけることができる (行動) ▼2-080 情報機器を利用して、音や音声を録音する (体験) ▼2-090 情報機器を利用して、写真に記録する (体験) ▼2-100 メモリーカードやデジタルカメラから画像をコンピュータに取り込む (体験) ▼2-110 ブラウザの基本機能 (リンク・戻る・お気に入り等) を使える (技能) ▼2-120 身の回りにはいろいろな情報収集手段があることを知る (認識)	A21-3:視点を明確にし、方法を検討しながら、情報を集める (体験) ▼3-010 いろいろな機器を利用して、情報を集める (体験) ▼3-020 情報機器を利用して、画像や動画を記録する (技能) ▼3-030 情報機器を介して、情報をコンピュータに取り込む (技能) ▼3-040 目的や視点を明確にして、情報を集めることができる (行動) ▼3-050 他の情報と比較しながら、必要な情報を集めることができる (行動) ▼3-060 目的を明確にしてインタビューする (行動) ▼3-070 複数のWebページを比較して、必要な情報を探し出す (行動) ▼3-080 図表やグラフから必要な情報を読み取ることができる (行動) ▼3-090 図書館司書から助言を受けながら、必要な資料を見つける (行動) ▼3-100 調べたい事柄をアンケート形式で質問紙にまとめる (思考) ▼3-110 質問したい事柄をメモしておく (態度)	A21-4:検索した情報の真偽性を意識しながら、適切な方法で情報を集める (行動) ▼4-010 図書館の蔵書検索を利用して、目的の情報を探す (行動) ▼4-020 目的に応じて検索サイトのサービスを使い分ける (路線・地図・画像など) (行動) ▼4-030 検索したい情報に関連するキーワードの組み合わせをいくつか用意し、その適合性を判断する (判断) ▼4-040 複数の情報を比較し、何が事実かを考える (判断) ▼4-050 情報発信時には、正しかった情報が間違っている場合があることを知る (認識)	A21-5:複数の検索手段を活用し、複数の情報を比較しながら、確かな情報を集める (行動) ▼5-010 検索サイトの持つ高度な検索機能を活用する (行動) ▼5-020 複数の情報の中から、情報として参照できるものと望ましくないものを、わけることができる (思考判断)	
A22 【情報の編集・加工】					
	A22-2:文書や図形の簡単な編集をする ▼2-010 マウスを使って、簡単な図形を描く (体験) ▼2-020 マウスを使って、図形の移動や変形を行う (技能) ▼2-030 マウスを使って、相互の位置関係を見ながら適切な位置に移動する (技能) ▼2-040 簡単な文書ファイルを作成する (技能)	A22-3:文書・画像・音声などの情報を相互に関連づけて、編集する ▼3-010 録音したデジタルデータを、必要な部分だけ編集 (切り取り、貼り付け) する (技能) ▼3-020 写真やイラストの必要な部分だけを切り出す (トリミングする) (技能) ▼3-030 文書処理ソフトに、描画ソフトなどから画像等をコピーし、貼り付ける (技能) ▼3-040 文書中のイラストや写真のレイアウトを適切に修正する (技能) ▼3-050 スライドやポスターで、伝える内容に応じて、文字レイアウトを変更する (技能) ▼3-060 見やすいレイアウトを選択する (認識) ▼3-070 伝える相手を考えて、色やレイアウトを選ぶ (行動) ▼3-080 プレゼンテーションソフト等で文章や写真をレイアウトし、数枚のスライドを作成する (行動)	A22-4:文書・画像・映像を相互に関連づけて、編集・加工する ▼4-010 2つ以上のソフトを使って、ワープロソフトに適切な図表や写真を貼る (体験) ▼4-020 写真やイラストの色調やコントラストを修正する (技能) ▼4-030 画像や映像を、指定されたファイル形式に変換する (技能)	A22-5:文書・画像・映像を効果的に関連づけて、高度な編集・加工をする (技能) ▼5-010 ビジネス文書の書式に整形する (技能) ▼5-020 高度な印刷設定を行ったり、電子印刷媒体を作ったり (PDF) する (技能) ▼5-030 写真やイラストの画面解像度を適切に変更する (技能) ▼5-040 レイヤーを使って、画像を合成する (技能) ▼5-050 管理効率やセキュリティを考慮して、電子ファイル进行管理する (圧縮・暗号化など) (行動)	

3. 情報の分析	A31 【情報の整理・分析】	<p>A31-2:情報を整理する</p> <p>▼2-010 集めた情報の共通点や相違点を話し合い整理する(体験)</p> <p>▼2-020 言葉の意味を考えながら、情報を分類・整理(仲間分け)する(認識)</p>	<p>A31-3:視点を定めて、情報を整理・分析する</p> <p>▼3-010 表計算ソフトを利用し、情報を表にまとめる(技能)</p> <p>▼3-020 表計算ソフトを利用し、情報を整理し並べ替える(技能)</p> <p>▼3-030 集めた情報を整理・判断し、まとまりごとに見出しをつける(行動)</p> <p>▼3-040 話の要点や流れを、キーワードや図にまとめる(思考)</p>	<p>A31-4:集めた情報を、多様な方法で整理・分析する</p> <p>▼4-010 複数の観点から情報を整理し、まとめる(行動)</p> <p>▼4-020 自分で観点を決めて情報を分類・整理する(思考)</p> <p>▼4-030 集めた情報から規則性を見つけ整理・分析する(思考判断)</p>	<p>A31-5:集めた情報に対して批判的な思考をもち、整理・分析・判断する</p> <p>▼5-010 複数の情報を比較し、共通点や相違点を整理・分析・判断する(思考判断)</p>	
	A32 【情報の読み取りと吟味】	<p>A32-2:文章や画像から、その意味を読み取る</p> <p>▼2-010 二つの事柄を比べ、違いに気づく(認識)</p> <p>▼2-020 分類・整理した情報を読み取り、分かったことを拾い出す(行動)</p> <p>▼2-030 絵や図から必要な情報を読み取りとる(行動)</p> <p>▼2-040 文章から、話の流れを読み取る(行動)</p> <p>▼2-050 整理された短い文章から、全体の内容を読み取る(思考)</p> <p>▼2-060 二つの事柄を比べ、違いの理由を考える(思考)</p>	<p>A32-3:情報を整理して、その意味を読み取る</p> <p>▼3-010 表計算ソフトのグラフ機能を利用し、整理した情報の特徴を分かりやすく示す(技能)</p> <p>▼3-020 実物と写真や図を見比べ、違いを指摘する(認識)</p> <p>▼3-030 二つの条件を満たすものがどれであるかを見つける(知識理解)</p> <p>▼3-040 複数の情報を組み合わせることで考えることができる(行動)</p> <p>▼3-050 長い文章を、要点を箇条書きするなどして、短い文章にまとめる(行動)</p> <p>▼3-060 音声聞いて、内容の要点をまとめる(行動)</p> <p>▼3-070 まとめた図表やグラフから、必要な情報を見つけ出す(判断)</p> <p>▼3-080 いくつかの情報を比較して、必要(適切)な情報を判断する(判断)</p> <p>▼3-090 分類・整理された複数の情報の、共通点・相違点を見つけ出す(思考)</p>	<p>A32-4:情報を分析し、含まれている意味を、関連づけて読み取る</p> <p>▼4-010 読み取ったことを関係図に表し、説明する(行動)</p> <p>▼4-020 複数の情報の、共通点や相違点を記述する(行動)</p> <p>▼4-030 複数の情報やデータから見つけた傾向や規則性を、文章にまとめる(判断)</p> <p>▼4-040 集めた情報の信頼性を確かめるようにする(態度)</p>	<p>A32-5:複数の情報を分析し、傾向や関連性を見つけるとともに、信憑性を吟味する</p> <p>▼5-010 情報を選択した根拠を説明する(行動)</p> <p>▼5-020 情報選択の順に、その情報の発信時期を考慮する(行動)</p> <p>▼5-030 複数の情報を比較し、情報の真偽性を判断する(判断)</p> <p>▼5-040 情報を論理的に整理し、条件を満たすものを選択する(思考)</p> <p>▼5-050 集めた情報から規則性を見つけ整理・分析・判断する(思考判断)</p>	
4. 情報の発信	A41 【自分の考えを表現・発信】	<p>A41-1:自分の考えをはっきりさせて表現する</p> <p>▼1-010 より分かりやすく伝えるための工夫を意図する(認識)</p> <p>▼1-020 発表のときに、絵や写真に適切な題名をつける(行動)</p> <p>▼1-030 理由を挙げて意見を述べる(行動)</p>	<p>A41-2:自分の考えを相手に分かるように表現する</p> <p>▼2-010 宛先やタイトルを適切に入力し、電子メールを送る(体験)</p> <p>▼2-020 電子掲示板などを利用して、人の意見を読んだり、自分の意見を書き込む(体験)</p> <p>▼2-030 5W1Hを意識しながら、分かりやすく表現する(行動)</p> <p>▼2-040 調べたことと自分の意見を区別して、表現する(行動)</p> <p>▼2-050 伝えたい内容に応じて、文章のタイトルを工夫してつける(行動)</p> <p>▼2-060 目的に応じた伝え方を考える(行動)</p>	<p>A41-3:自分の考えを様々な方法を使って表現・発信する</p> <p>▼3-010 ファイルを添付して、電子メールを送信する(体験)</p> <p>▼3-020 受信した電子メールに返信したり、複数の相手に送信したりする(体験)</p> <p>▼3-030 フォントの種類、大きさや色などを考えて表現する(行動)</p> <p>▼3-040 話の流れに沿った適切な写真やイラストを選択する(行動)</p> <p>▼3-050 伝えたい情報を箇条書きにして表すことができる。(行動)</p> <p>▼3-060 レポートの構成を考える(行動)</p> <p>▼3-070 引用のルールを守りながら、自分の考えを表現する(行動)</p> <p>▼3-080 効果的に伝えるよう、表現の方法を考える(思考)</p> <p>▼3-090 コミュニケーションツールを使って、他の人と意見や情報のやりとりをする(行動)</p> <p>▼3-100 わかりやすく伝えるメディアを選んで、自分の考えを表現する(行動)</p> <p>▼3-110 考えたことや自分の意図が相手に伝わりやすいよう話を組立てる(思考)</p>	<p>A41-4:表現することの全体構成を考慮することができる</p> <p>▼4-010 わかりやすいレポートの作り方を知る(知識理解)</p> <p>▼4-020 構成図を使って、自分の考えを表現する(行動)</p> <p>▼4-030 相手や目的を考えながら、自分の考えを適切に表現する(行動)</p> <p>▼4-040 自分の発信する情報がもたらす影響を考慮し、適切に修正して発信する(行動)</p> <p>▼4-050 他人の意見や資料内容と自分の意見とが区別できるような言葉を使って、文章を書く(行動)</p> <p>▼4-060 マルチメディアの特徴と利用方法を知る(認識)</p> <p>▼4-070 自分の考えを多様なメディアを統合して、表現・発信する(行動)</p> <p>▼4-080 表現の効果について、人に確かめたり工夫したりする(行動)</p> <p>▼4-090 効果を意識しながら、表現を工夫する(思考判断)</p>	<p>A41-5:伝える相手の多様性を意識して効果的に表現し、評価する</p> <p>▼5-010 自分が作成した文章表現を、批判的に(客観的に)評価する(判断)</p> <p>▼5-020 他人の意見を応用的・発展的に活用し、よりよいものを創り上げるようにする(態度)</p>
	A42 【プレゼンテーション】	<p>A42-1:みんなの前でしっかりと話すことができる</p> <p>▼1-010 前を向いて話す(行動)</p> <p>▼1-020 みんなの顔を見て話す(行動)</p> <p>▼1-030 大きな声ではっきりと発表する(行動)</p> <p>▼1-040 他人のプレゼンテーションをしっかりと聞く(行動)</p>	<p>A42-2:よいプレゼンテーションの仕方が分かる</p> <p>▼2-010 原稿を見ないで発表する(行動)</p> <p>▼2-020 伝える内容に合わせ、手振りを入れたり口調や表情を考えたりして話す(行動)</p> <p>▼2-030 発表の内容に応じた写真や資料を用意し、発表する(行動)</p> <p>▼2-040 集めたデータを元にして、発表資料を作る(行動)</p> <p>▼2-050 他人のプレゼンテーションを見て、改善点を見つける(行動)</p> <p>▼2-060 大きな声で、みんなの前で話すことができたかを振り返る(判断)</p> <p>▼2-070 他人のプレゼンテーションを見て、良いところを見つける(判断)</p> <p>▼2-080 姿勢や口形などに注意して、はっきりとした発音で話す(態度)</p>	<p>A42-3:必要な内容を整理して、プレゼンテーションの構成を考慮することができる</p> <p>▼3-010 コンピュータなどを使って、プレゼンテーションの資料を作る(技能)</p> <p>▼3-020 情報機器(プロジェクター・電子黒板等)を活用して、情報を提示する(技能)</p> <p>▼3-030 発表する内容を興味しながら、聞き手に伝わりやすいスライドを作成する(行動)</p> <p>▼3-040 プレゼンテーションの全体構成を考える(思考)</p> <p>▼3-050 発表時間に合わせて、プレゼンテーションの構成を組み立てる(思考)</p> <p>▼3-060 目的に応じた、効果的な伝達方法を考える(態度)</p> <p>▼3-070 聞き手の反応を見ながら話す(行動)</p> <p>▼3-080 要点をまとめて、質問できる(行動)</p> <p>▼3-090 他人のプレゼンテーションを見て、良いところを取り入れる(態度)</p>	<p>A42-4:相手の状況にあわせて、プレゼンテーションの構成を考慮することができる</p> <p>▼4-010 情報を整理して、聞き手に伝えたいことを文章にまとめる(行動)</p> <p>▼4-020 話すスピード、トーン、間の取り方を工夫して発表する(行動)</p> <p>▼4-030 発表用のスライドから、伝えたい内容を絞った数枚のスライドを再構成する(判断)</p> <p>▼4-040 資料を効果的に使って話す(行動)</p> <p>▼4-050 重要な点に、抑揚・高低・繰り返し等のメリハリをつけて発表する(行動)</p> <p>▼4-060 聞き手の人数や発表会場の大きさに合わせて、声の大きさを工夫し発表する(行動)</p> <p>▼4-070 発表内容が聞き手によく伝わるように、プレゼンテーションのポイントを意図して発表する(行動)</p> <p>▼4-080 質問に対する回答を的確に返す(行動)</p> <p>▼4-090 相手の話の要点を、聞きながら記録する(行動)</p> <p>▼4-100 相手にわかりやすく伝えることができたかを振り返る(判断)</p>	<p>A42-5:根拠となるデータを示して、プレゼンテーションの構成を考慮することができる</p> <p>▼5-010 事柄の順序を考えながら、聞き手にわかるように話す(行動)</p> <p>▼5-020 根拠となる資料を効果的に使いながら、聞き手にわかるように話す(行動)</p> <p>▼5-030 会場の広さ、人数、反応を意識して、声の出し方を工夫する(行動)</p> <p>▼5-040 その場の状況や聞き手の様子に合わせて、発表する内容や順番を修正する(行動)</p> <p>▼5-050 他人のプレゼンテーションを見て、質問する(行動)</p> <p>▼5-060 聞き手として、重要な点について質問する(行動)</p> <p>▼5-070 話し手として、質問に対する回答を整理して返す(行動)</p> <p>▼5-080 根拠を示すことで、相手にわかりやすく伝えることができたかを振り返る(態度)</p>

5. 問題解決	A51 ●問題解決における情報活用	a [問題の発見・計画]			
		A51a1:自ら課題を見つける	A51a2:自ら課題を選び計画を立てる	A51a3:自ら課題を見つけ見直しを持って活動する	A51a4:自ら課題解決を実現可能性を考えて計画・実施に移す
		▼1-010 身の回りのことに関心を持つ (認識)	▼2-010 互いに出し合った課題の中から、調べたいものを選ぶ (行動)	▼3-010 インターネットを使った、情報の検索の方法を知る (認識)	▼4-010 課題や疑問に対して、解決に向けた予想を立てる (行動)
		▼1-020 先生の手伝った課題から、調べたいことを選ぶ (行動)	▼2-020 調べたい内容に適切なキーワードを挙げる (判断)	▼3-020 課題に対して仮説を立てる (行動)	▼4-020 見直しを持って、調べる計画を立てる (行動)
		▼1-030 自分の調べたいことは何かを、言える (行動)	▼2-030 自分の身近な問題から課題を考える (思考)	▼3-030 見直しを持って、調べる計画を立て、手順を整理する (行動)	▼4-030 調べる方法や計画を整理して、人に伝える (行動)
			▼2-040 調べる計画を立てる (行動)	▼3-040 立てた計画で課題を解決できるか、実施可能かを検討する (思考)	
			▼2-050 調べる計画をみんなの前で発表する (行動)	▼3-050 自分の意見を持ちたり、課題を見つたりする際に、他の人の意見も参考にする (態度)	
					▼5-010 課題を発見し、仮説を立て、その課題方法を計画し、実施する (行動)
					▼5-020 図書検索システムを使って解決に必要な情報を見つける (技能)
					▼5-030 問題の発見と明確化のために、Webサイトや新聞、書籍から情報を収集する (行動)
					▼5-040 問題の発見と明確化のために、ブレインストーミング、アンケート調査、インタビューなどを実施する (行動)
					▼5-050 予想と仮説の検証方法を考察する (判断)
					▼5-060 課題を発見し、課題解決に向けて、洞察する (思考)
		b [問題解決のための情報整理・分析・判断]			
		A51b2:課題解決のために関連する情報を収集する	A51b3:情報の整理・分析のためにコンピュータや情報機器を活用する	A51b4:課題解決のために、情報を収集・整理・分析する	A51b5:情報の整理・分析・判断のために、コンピュータを道具として適切に活用する
▼2-010 実物と写真や図を見比べて、分かったことを拾い出す (行動)	▼3-010 表から、題意に沿った適切なグラフをつくる (技能)	▼4-010 情報を、課題と関連づけて読み取る (行動)	▼5-010 集めた情報について話し合い、新しい事実や関係を見つける (行動)		
▼2-020 事実と考えとを区別しながら、内容を読み取る (行動)	▼3-020 ツールを活用して、データ間の複雑な関係を整理する (技能)	▼4-020 論理的に整理し、整理した情報の中から、条件を満たすものを選択する (行動)	▼5-020 資料をもとにして、他人に説明したり、他人の考えに助言したりする (行動)		
▼2-030 調べようとする題材に関連する資料を集める (行動)	▼3-030 いくつかの資料を比較して情報の正確性を確かめる (行動)	▼4-030 情報の新しさを意識しながら、必要な情報を選択する (行動)	▼5-030 問題の分析のために統計的な手法を活用する (行動)		
▼2-040 自分の考えを広げたり深めたりするために、必要な図書資料を選んで読む (行動)	▼3-040 情報を分類・整理した表やグラフを読み取り、気づいたことや考えたことを書き出す (行動)	▼4-040 集めた情報の内容を読みとり整理・分析・判断する (判断)	▼5-040 自分の立てた予想や仮説と比べながら集めた情報を整理・分析する (思考)		
▼2-050 課題について広く意見交換するなどの交流をする (行動)	▼3-050 集めた情報を予想と比較する (行動)	▼4-050 複数の情報を比較し、共通や相違点を整理・分析・判断する (判断)	▼5-050 集めた情報に対して批判的な視点をもちながら、整理・分析・判断する (判断)		
▼2-060 集めた情報に適切なキーワードをつける (思考)	▼3-060 たくさんの写真や図の中から、目的に合うものを見つける (判断)	▼4-060 集めた情報の中で、どれが課題解決に使えるかがわかる (判断)			
▼2-070 簡単に小規模なアンケートの結果を集計し、表やグラフにまとめる (思考)	▼3-070 集めた情報の中で、どれが課題解決に使えるかがわかる (判断)				
▼2-080 分類・整理した情報で分かったことを基にして、自分の考えを深める (思考)					
c [問題解決の結果のまとめ・発信]					
A51c2:課題解決の結果をまとめ、発表する	A51c3:課題解決の結果をまとめ、効果的に発表する	A51c4:課題解決の結果を資料に基づきまとめ、情報手段を活用して発表する	A51c5:課題解決の結果を論理的にまとめ、情報手段を活用して効果的に発表する		
▼2-010 まとめたことをみんなの前で発表する (行動)	▼3-010 必要な情報をプリンターで適切に印刷する (技能)	▼4-010 異論・反論を想定して資料や根拠を準備し、効果的に示す (行動)	▼5-010 伝える相手に応じて手段を選択し、情報を発信する (行動)		
▼2-020 絵や図にまとめて発表する (行動)	▼3-020 自分の考えが効果的に伝わるよう、図表やグラフを用いる (行動)	▼4-020 効果を考えてながら、発信する情報の構成を考える (思考)	▼5-020 複数の情報やデータから見つけた傾向や規則性を吟味し、文章にまとめる (行動)		
	▼3-030 発表する意図に合う適切な写真やイラストを選び、プレゼンテーションする (行動)	▼4-030 結果を的確に伝えるための、報告書 (レポート) の内容構成を考える (思考)	▼5-030 目的や意図を明らかにして、事実と意見を区別しながら文章にまとめる (行動)		
	▼3-040 事実と自分の考えを、区別して発表する (行動)		▼5-040 集めた情報を整理・分析・判断し、相手にわかりやすくまとめる (判断)		
			▼5-050 自分の考えを明確に表現するため、文章全体の組立ての効果を考える (思考)		
			▼5-060 導入・展開・まとめのそれぞれに必要な内容を整理して、発表内容の構成・発表方法を考える (思考)		
d [結果の評価]					
	A51d3:課題解決の結果が思うようにまとめられたか評価する	A51d4:課題解決に至るまでの経過 (計画や結果など) を振り返り、評価する	A51d5:課題解決の計画や活動、予想した結果について振り返り、次の計画に活かす		
	▼3-010 調べた結果から、新たな課題を見つける (思考)	▼4-010 計画が適切であったかを振り返る (判断)	▼5-010 自らの情報処理の過程をメタ認知し、不足している能力を意識する (認識)		
	▼3-020 思うようにまとめることができたかを振り返る (判断)	▼4-020 自分の調べたいことが調べられたかを振り返る (判断)	▼5-020 情報手段が適切であったかについて、相手からの反応や反響を参考にし、改善する (判断)		
		▼4-030 課題解決に必要な情報が収集できたかを振り返る (判断)	▼5-030 表現したことにに対して自分の選んだ方法や道具が効果的だったかを振り返り、次回に活かそうとする (態度)		
		▼4-040 論理的に構成できたかを、振り返る (判断)			
		▼4-050 出典明示や著作権の扱いについて、ルールにのっとってできたかを、振り返る (判断)			
		▼4-060 見やすさや分かりやすさを意識したまとめ方になっているかを、振り返る (判断)			
		▼4-070 仮説が明らかになるように、まとめることができたかを振り返る (判断)			
		▼4-080 情報を再構成し、新しい課題を見つける (思考)			

B.情報の科学的な理解				
1. 人間の情報処理特性と情報のデジタル化	B11	●人間の情報処理特性の理解		
		a【人間の情報処理の特長や限界】		
		B11a3:遊びや体験などを通じて、人間の情報処理の特徴や限界に気づく	B11a4:人間の情報処理の特長や限界を知る	B11a5:人間の情報処理の限界を認識し、メディアやコンピュータが補助手段として有効であることを知る
		▼3-010 伝達ゲームなどを通じて、情報は中継されることで、内容が変化することを体験する〔体験〕	▼4-010 錯視は、いくら意識していても起きる人間の特性であることを体験する〔体験〕 ▼4-020 人間が一度に記憶できる量には(7±2など)限界があることを知る〔認識〕 ▼4-030 (伝達ゲームなどのように、)情報は中継されることで、不可逆的に内容が変化することを確認する〔認識〕	▼5-010 同じ情報でも、思い込みや先行情報により、判断が偏ることがあることを知る〔認識〕 ▼5-020 認知特性を意識(配慮)した、情報の創作技術を知る〔認識〕
		b【情報伝達における情報のひずみ】		
		B11b3:情報の表現によって、わかりやすさに影響があることを知る	B11b4:情報に対する人の判断は一律ではないことを知る	B11b5:情報に対する判断は文化や社会の影響を受けることを認識し、適切に対応できる
		▼3-010 見やすい表現、わかりやすい表現の具体例を知る〔認識〕 ▼3-020 提示された文字列が、句読点の違いにより異なる意味にとれることを指摘する〔認識〕	▼4-010 画像・音声・映像などから受け取る情報は、人により異なることを理解する〔認識〕 ▼4-020 表現を明確にしても、受け取り方が異なる場合もあることを知る〔認識〕 ▼4-030 伝達による情報の変異は、人間が関与することで増幅されることに気づく〔認識〕 ▼4-040 色の構成では、色弱の人への配慮が必要であることを知る〔認識〕 ▼4-050 表現をどのように変えれば、より誤解なく、多くの人に伝わるかがわかる〔知識理解〕	▼5-010 同じ情報でも、文脈や予備知識の違いにより、異なる受け取り方になることを理解する〔認識〕 ▼5-020 完全ではない情報(断片的な画像情報など)に対して、人が補正することで情報のひずみが生じることを知る〔認識〕 ▼5-030 情報は故意・過失・誤読・無意識等により、伝達の途中で形を変えることが指摘できる〔知識理解〕 ▼5-040 伝達経路や方法、伝達に関与した組織・人から、どのような情報の変化が起きるか(起きたか)を予測できる〔知識理解〕
	B12	【情報のデジタル表現と特徴】		
		B12-3:身の回りの情報機器では、情報がデジタル化され扱われていることを知る	B12-4:デジタル化された情報の利点・注意点が説明できる	B12-5:情報をデジタル化する方法とデジタル化された情報の特性が説明できる
		▼3-010 デジタル化された情報の保存形式とファイルサイズの違いを比較できる〔体験〕 ▼3-020 情報は提供しても元の所有者の手元から無くなるわけではないことを知る〔認識〕 ▼3-030 デジタルデータの特徴が説明できる(例:劣化しない、コピーが大量にできる)〔知識理解〕	▼4-010 アナログ情報とデジタル情報の違い等の基本的な意味を知る〔認識〕 ▼4-020 デジタル化された情報が統合的に扱えることがわかる〔認識〕 ▼4-030 デジタルカメラ、イメージスキャナ、ディスプレイ、プロジェクタなどの特徴を知る〔認識〕 ▼4-040 データ量の単位であるビット(Bit)やバイト(Byte)を知る〔認識〕 ▼4-050 コンピュータの内部では情報がいずれも「0」と「1」のビット(Bit)列で表現されていることがわかる〔知識理解〕	▼5-010 アナログ方式の情報の処理に比べ、デジタル方式では情報を劣化させずに処理することが容易となることを知る〔認識〕 ▼5-020 文字をデジタル化するための様々な工夫について知る〔認識〕 ▼5-030 文字の情報については、ASCII、シフトJIS、JIS Unicodeなどの様々な文字体系があることを知る〔認識〕 ▼5-040 情報を利用する目的などに応じて、適切なデジタル化の方法を選択できる〔認識〕 ▼5-050 標本化や量子化の考え方がわかる〔知識理解〕 ▼5-060 文字情報のデジタル化の仕組みを説明できる〔知識理解〕 ▼5-070 音声を例に、アナログ信号のデジタル化の方法を説明できる〔知識理解〕 ▼5-080 写真・映像の情報のデジタル化の方法を説明できる〔知識理解〕 ▼5-090 コンピュータ内部での、情報の数値化の概略を理解する〔知識理解〕 ▼5-100 簡単なデータ量の計算ができる〔知識理解〕 ▼5-110 情報をデジタル化することで、計算による様々な編集が可能になっていることがわかる〔知識理解〕

2. コンピュータの仕組み	B21	【コンピュータのメカニズムと特性】		
			<p>B21-3:ほとんどの情報機器にはコンピュータが埋め込まれ情報処理をしていることを知る</p> <p>▼3-010 情報機器 (情報メディア) と呼ばれるものには、どのようなものがあるのかを知る (認識)</p> <p>▼3-020 家庭内には、さまざまな情報機器や情報メディアがあることを知る (認識)</p> <p>▼3-030 家庭内の情報機器 (情報メディア) の種類と、その基本的な仕組みを知る (認識)</p> <p>▼3-040 身の回りにはコンピュータ以外にも、さまざまな情報機器があることを知る (認識)</p> <p>▼3-050 家庭内の情報機器や情報メディアの中には、コンピュータ機能が内蔵されていることを知る (認識)</p> <p>▼3-060 社会の中には、いろいろな場所で情報機器 (情報メディア) が使われていることを知る (認識)</p>	<p>B21-4:コンピュータの基本構成と基本的な働きを知る</p> <p>▼4-010 コンピュータの発達の歴史を知る (認識)</p> <p>▼4-020 携帯電話の基本的な機能を知る (認識)</p> <p>▼4-030 コンピュータに接続できる機器や、何ができるかを知る (認識)</p> <p>▼4-040 コンピュータの各部の名称と基本的な役割を知る (認識)</p> <p>▼4-050 コンピュータを構成している5つの機能を知る (知識理解)</p> <p>▼4-060 コンピュータの装置および周辺装置を4つ (入力装置、出力装置、記憶装置、中央処理装置) に弁別できる (知識理解)</p> <p>▼4-070 コンピュータの基本ソフトウェアの役割やアプリケーションソフトウェアの働きを知る (知識理解)</p>
	B22	【ソフトウェアの役割】		
			<p>B22-4:プログラムやソフトウェアの働きを知る</p> <p>▼4-010 コンピュータの中でプログラムが果たしている役割を知る (認識)</p>	<p>B22-5:基本ソフトやアプリケーションソフトの種類やその役割を説明できる</p> <p>▼5-010 コンピュータの内部での情報のやり取りや動作についての基本的な考え方が図式的にわかる。 (知識理解)</p> <p>▼5-020 コンピュータの内部で命令がステップ単位で動作していることを理解する (知識理解)</p>

3. 情報ネットワークとセキュリティ技術	B31 【情報通信ネットワークの仕組み】			<p>B31-3:情報機器やコンピュータは、ネットワークと接続して活用されていることを知る</p> <p>▼3-010 情報通信ネットワークには、いろいろな情報機器が接続されていることを知る (認識)</p>	<p>B31-4:情報通信ネットワークの基本構成と、基本的働きを知る</p> <p>▼4-010 インターネットの構成要素と、およその仕組みが分かる (認識)</p> <p>▼4-020 電子メールの送受信の仕組みを知る (認識)</p> <p>▼4-030 無線LANの基本的な特性を知る (認識)</p> <p>▼4-040 ハイパーテキストの基本的な仕組みが説明できる (知識理解)</p>	<p>B31-5:情報通信ネットワークでは、どのように情報が送られているのかを説明できる</p> <p>▼5-010 デジタル化された情報は情報通信ネットワーク内に設置されたプリンタや記憶装置などの周辺機器で共有できることを知る (認識)</p> <p>▼5-020 データ転送の基本的な原理を知る (プロトコルやパケットなど) (認識)</p> <p>▼5-030 データ損失の発生原因と防ぐ方法の原理を知る (エラー訂正や再送要求など) (認識)</p> <p>▼5-040 無線ネットワークの基本的な原理を知る (認識)</p> <p>▼5-050 ICタグやICカード (非接触型RFIDなどを含む) のおよその働きを知る (認識)</p> <p>▼5-060 複数のコンピュータが相互に接続され、共通のプロトコルに従って一つの情報通信ネットワークとして機能することがわかる。 (知識理解)</p> <p>▼5-070 コンピュータ、ハブやルーターなどの中継機器、プリンタなどの周辺機器などが、LANケーブルや電波を介して相互に接続されて機能していることがわかる。 (知識理解)</p> <p>▼5-080 ネットワーク機器の接続を模式図等で理解することができる (知識理解)</p> <p>▼5-090 電子メールを送受信するときの情報の流れを図式的に理解する (知識理解)</p> <p>▼5-100 Webサーバの情報をブラウザで閲覧できるまでの仕組みを図式的に理解する (知識理解)</p> <p>▼5-110 DNS (DomainName System) の働きや情報のやり取りの手順を、図式的に理解する。 (知識理解)</p> <p>▼5-120 情報セキュリティを確保するために情報通信ネットワークの仕組みの中で個人認証や情報の暗号化などの技術が必要となることがわかる (知識理解)</p>
	B32 【セキュリティ技術】			<p>B32-3:情報を安全に利用するための対策や工夫が必要であることを知る</p> <p>▼3-010 ID・パスワードの重要性を知る (認識)</p> <p>▼3-020 コンピュータウイルス、スパイウェアなどに対し、対応する方策があることを知る (認識)</p> <p>▼3-030 一人がウイルス対策をしないことにより、他の人に迷惑がかかるという事実がわかる (認識)</p>	<p>B32-4:情報を安全に利用するための仕組みを知る</p> <p>▼4-010 個人認証の重要性・基本的な役割を知る (認識)</p> <p>▼4-020 いろいろな個人認証の方法があることを知る (認識)</p> <p>▼4-030 コンピュータウイルス、スパイウェアなどのプログラムの働きを知る (認識)</p> <p>▼4-040 ウィルス対策ソフト等の働きや運用の仕組みを知る (認識)</p> <p>▼4-050 https (ssl機能を追加したプロトコル) の働きを知る (認識)</p> <p>▼4-060 暗号化の重要性・基本的な働きを知る (認識)</p> <p>▼4-070 バッチやサービスパック、パターンの更新の必要性を知る (認識)</p> <p>▼4-080 ウィルスチェックソフトやファイヤーウォールなどの防御技術を知る (認識)</p> <p>▼4-090 万一、ウィルスの感染や不正アクセスが発生したときに行動すべきことがらを知る (認識)</p>	<p>B32-5:情報セキュリティの確保のための技術的対策 (個人認証、アクセス制御、ウィルス対策、情報漏洩対策など) について知る</p> <p>▼5-010 個人認証の目的を理解するとともに、様々な個人認証の方法を知る (認識)</p> <p>▼5-020 IPアドレス、Macアドレス、個体識別番号などが、何を特定しているかを知る (認識)</p> <p>▼5-030 DHCPと固定IPとの違いがわかる (認識)</p> <p>▼5-040 暗号化の基本的な仕組みを知る (認識)</p> <p>▼5-050 ウィルス対策ソフト等を適切に利用するための技術・方法を知る (認識)</p> <p>▼5-060 セキュリティ対策のための情報源 (URLなど) を知る (認識)</p> <p>▼5-070 コンピュータのウイルス対策を、自分で行える知識を持つ (行動)</p> <p>▼5-080 家庭内LANのルータの基本的な設定を、自分で行える知識を持つ (行動)</p> <p>▼5-090 自分や家族のコンピュータに安全対策を施し、日常的に運用する (行動)</p> <p>▼5-100 不意のデータ消失に備えて適切なバックアップを行う (行動)</p> <p>▼5-110 セキュリティ対策のための具体的な作業を行う (行動)</p>

4. 情報処理の方法と手順	B41 【通信と制御】		B41-2:自動的に制御されているおもちゃやロボットなどに興味を持つ ▼2-010 自動制御のおもちゃのメカニズムに興味を持つ (認識)	B41-3:自動的に制御されている機械や機器では、計測と制御が行われていることを知る ▼3-010 自動制御のおもちゃが、外界の変化に対応して動作が変化していることを知る (認識)	B41-4:計測と制御のための基本的なアルゴリズムを知り、プログラミングを体験する ▼4-010 身の回りの自動機械に計測と制御の技術がつけられていることを知る (認識) ▼4-020 簡単な計測と制御のプログラムを設計する (行動)	B41-5:計測と制御を利用した情報システムを、その応用や安全の観点から考えることができる ▼5-010 社会で利用されている計測と制御システムについて知る (知識理解) ▼5-020 計測と制御システムを構成する要素を知り、安全な運用について考える (思考)
	B42 【プログラミング】			B42-3:コンピュータが行っている具体的な処理について興味を持つ ▼3-010 いろいろなおもちゃ (道具) を、自動的に制御されているものとそうでないものに分ける (認識) ▼3-020 家電製品や身の回りの道具の中で、プログラムが動作していると思われるものを指摘できる (認識) ▼3-030 どの作業を組み合わせると、目的の作業が達成できるかがわかる (認識)	B42-4:コンピュータの中ではプログラムが動作していることを知る ▼4-010 基本的な作業を組み合わせることで、どのような作業が実行できるかを予想できる (知識理解) ▼4-020 与えられた目的を達成するためには、どのような作業に分解していけばよいかわかる (知識理解) ▼4-030 変数という概念がわかる (知識理解) ▼4-040 何らかの物事の流れを図示することができる (フローチャート) (行動) ▼4-050 単純な命令 (進む、右折、左折等) を組み合わせ、図形を描くプログラムを作る (行動) ▼4-060 繰り返しの命令を利用して、条件が整うまで動き続けるプログラムを作る (行動)	B42-5:データ処理のための基本的なアルゴリズムを知り、プログラミングを体験する ▼5-010 コンピュータ内部で簡単な計算をする際の動作の流れを知る (認識) ▼5-020 最大値や最小値を見つけるアルゴリズムを知る (認識) ▼5-030 基本的な並べ替えの考え方がわかる (知識理解) ▼5-040 ある複雑な課題を、分岐や順序を考えながら、わかりやすい流れ図に置き換える (知識理解) ▼5-050 ある複雑な課題を、繰り返しを考えながら、わかりやすい流れ図に置き換える (知識理解) ▼5-060 分岐・繰り返しなどを利用した、簡単なプログラムを作る (行動)
	B43 【モデル化とシミュレーション】			B43-4:モデル化の考え方がわかる ▼4-010 複雑な作業を図に置き換えて考えると、問題解決に利用できることを知る (行動) ▼4-020 何らかの特種的なパターンを符号や記号に置き換えると、わかりやすくなることを知る (行動)	B43-5:モデル化し、シミュレーションすることで問題解決できる方法を知る ▼5-010 複雑な問題を簡素化してモデルを作ることができる。 (知識理解) ▼5-020 課題を解決するには、どのようなシミュレーションをしないとよいかわかる (知識理解) ▼5-030 適切なシミュレーションソフトを利用して、回答を探し出せる (行動) ▼5-040 表計算ソフトを利用して、簡単なシミュレーションツール (定期・回数券どちらが得か等) を作成する (行動)	
	B44 【データベース】			B44-3:社会で利用されているデータベースを知り、その利便性がわかる ▼3-010 データベースシステムを利用し、目的に合った本を探し出す (体験)	B44-4:データベースの構築に必要な要素や作業手順がわかる ▼4-010 表計算ソフトの機能を使って、データを表にまとめたり、並べ替えたり、検索したりする方法を知る (知識理解) ▼4-020 表計算ソフトを利用して、自分持ち物データベースを作成する (技能)	B44-5:簡単なデータベースを設計し、具現化できる ▼5-010 関係 (リレーショナル) データベースで行える簡単なデータ操作について知る (知識理解) ▼5-020 検索エンジンの仕事の流れや全文検索、インクリメンタル検索の仕組みについて知る (知識理解) ▼5-030 データ構造を考えて表を新規に設計する (行動) ▼5-040 簡易データベースソフトを利用して、自分が設計したデータベースを構築する (技能)

C. 情報社会に参画する態度						
1. 情報・メディアに対する態度	C11	●情報に対する態度				
		a 【情報とのかかわり方】				
		C11a1: 情報の大切さを意識する	C11a2: 情報と主体的にかかわろうとする	C11a3: 情報を積極的に活用しようとする	C11a4: 関わった情報と事実とは、違いがあることを意識しながら情報を活用する	C11a5: 情報を客観的・分析的に評価した上で、情報を活用する
		▼1-010 聞いたことを忘れると困ったことになつて分かる (認識)	▼2-010 他人の発信した情報の良いところを見つける (認識)	▼3-010 言葉の使い分け、事実と意見を区別してとらえる (認識)	▼4-010 課題について調べた情報を根拠にして討論を行う (体験)	▼5-010 同じ情報が、人の価値観・環境・文化などによって、多様に解釈されることを理解する (認識)
		▼1-020 情報を知っていると、困ったときに役に立つことに、気づく (認識)	▼2-020 自分の考えと違う意見があることに気づく (認識)	▼3-020 (自他の) 情報や意見の、独自性 (オリジナリティ) を意識する (認識)	▼4-020 社会の常識の中には、自分の考えと違うものもあることに気づく (認識)	▼5-020 受け取った情報から、論理的客観的に事実を読み取る (行動)
		▼1-030 自分の発言が、相手の行動や発言などに影響を与えるということに、気づく (認識)	▼2-030 自分の考えと違う意見を尊重する (認識)	▼3-030 受け取った情報だけを信じて判断しないようにする (認識)	▼4-030 同じ情報が、人によって、多様に解釈されることを認識する (認識)	▼5-030 受けた多様性を意識しながら、情報を発信する (行動)
		▼1-040 身の回りにたくさん情報があることに気づく (認識)	▼2-040 分からないことがあたら辞書や辞典で調べる (行動)	▼3-040 発信しようとする情報の根拠を示せる (思考)	▼4-040 異なる複数の情報を比較する (行動)	▼5-040 情報の適切さについて批判的に判断できる (思考判断)
		▼1-050 わからないことを本で調べ、答えが見つかることを体験する (体験)	▼2-050 聞いた内容の分からないことをそのまませず、相手に質問する (行動)	▼3-050 受け取った情報だけを信じて判断せず、別の方法で確かめる (行動)	▼4-050 既知の情報と照らし合わせる (行動)	▼5-050 他者が発信した意見や自己の意見を客観的に評価する (思考判断)
				▼3-060 使われている情報が適切かどうかを客観的に判断できる (思考判断)	▼4-060 反論や、反論への回答を考える (思考)	▼5-060 情報を分析的に見ようとする (態度)
				▼3-050 新しく伝えられたのが振り返り、修正できる (思考)	▼4-060 別の見方 (発想) をしてみる (態度)	▼5-060 情報の真偽を吟味し、適切な判断ができる
	b 【情報を評価する能力】					
	C11b2: 情報には誤ったものもあることに気づく	C11b3: 情報の正確さを判断する方法を知る	C11b4: 情報を批判的に見る	C11b5: 情報の真偽を吟味し、適切な判断ができる		
	▼2-010 情報を鵜呑みにしない (認識)	▼3-010 統計情報の持つ意味を知る (認識)	▼4-010 意図的な情報があることを知る (認識)	▼5-010 情報の発信源を整理したり調査して、情報の信頼性や信憑性を評価することができる (思考判断)		
	▼2-020 情報には危険なものがあることに気づく (認識)	▼3-020 誰が言っているのか (情報発信源) を意識する (認識)	▼4-020 入り混じった (あいまいな) 表現から、事実を予測する (認識)	▼5-020 情報の表現内容や方法の違いを比較することで、情報の信頼性や信憑性を評価する (思考判断)		
	▼2-030 情報には、正しいものと誤ったものがあることを知る (認識)	▼3-030 受け取った情報だけを信じて判断せず、別の方法で確かめる (行動)	▼4-030 どのような組織 (人) が発信している情報かを調査する方法を知っている (認識)	▼5-030 既知の情報と照らしながら、論理的に情報の真偽を判断する (思考判断)		
	▼2-040 受けとった情報が正しい情報かどうかを、意識できる (認識)	▼3-040 出典明示されているデータから、一次情報を見つける (行動)	▼4-040 情報を選択した根拠を説明できる (認識)	▼5-040 不明なことを、曖昧なままにしない (どこがあいまいな部分かを意識する) (態度)		
		▼3-050 新しく伝えられたのが振り返り、修正できる (思考)	▼4-050 別の見方 (発想) をしてみる (態度)	▼5-050 発信する情報の真偽性を、自己評価する (態度)		
		▼3-060 使われている情報が適切かどうかを客観的に判断できる (思考判断)	▼4-060 情報には正しい物と誤った物があることを知った上で、積極的に情報を活用する (態度)			
	C12 【映像メディアを評価する能力】					
	C12-1: いろいろなメディアとかわかる	C12-2: メディアの持つ効果や与える影響を意識する	C12-3: メディアを介した情報は、事実とは異なることを知る	C12-4: メディアを批判的 (逆説的) に見る	C12-5: メディアからの情報を客観的・分析的に評価する	
	▼1-010 いろいろな角度から写真を取る (体験)	▼2-010 表現の異なるメディアを見比べ、その効果の違いを実感する (体験)	▼3-010 同じテーマを異なるグループで映像化し、その違いを見比べる (体験)	▼4-010 ストーリー構成を変えることにより、伝わるメッセージが変わることを知る (認識)	▼5-010 マスコミであっても、特定の傾向を持っていることを知る (認識)	
	▼1-020 身の回りにはいろいろなメディアがあることを知る (認識)	▼2-020 色・形・大きさなどを変えたメディアを見比べ、その違いを実感する (体験)	▼3-020 作成した画像 (映像) が、どのように受け取られるかを互いに確認する (体験)	▼4-020 撮影技法を変えることにより、伝わるメッセージが変わることを知る (認識)	▼5-020 画像情報やグラフ等のごまかしの内容を、具体的に指摘する (知識理解)	
	▼2-030 映像にはフィクションとノンフィクションがあることがわかる (認識)	▼3-030 同じ映像でも順番を変えると伝わる場合があることに気づく (認識)	▼4-030 編集により、伝わるメッセージが変わることを知る (認識)	▼5-030 伝えたいメッセージの映像化に際し、利用可能な技術 (構成や技法、伝達方法等) を適切に選択できる (思考判断)		
	▼2-040 映像による情報の内容から、事実を想定する (認識)	▼3-040 同じ映像でも、人により受け取り方が異なることを知る (認識)	▼4-040 画像情報やグラフ等のごまかしの可能性に気づく (認識)	▼5-040 映像を分析的に視聴することができる (態度)		
	▼2-050 映像の内容を、体験や経験と対応させて解釈する (認識)	▼3-050 方向を変えて撮影された画像の、意外性を知る (認識)	▼4-050 発信側の意図が言われていることに気づく (認識)	▼5-050 映像を批判的に判断しようとする (態度)		
	▼2-060 同じ画像でも、人により解釈が異なることを知る (認識)	▼3-060 映像メディアによる効果的な表現方法を知る (認識)	▼4-060 メディアからのメッセージの逆の見方をしてみる (態度)			
	▼2-070 コマーシャルの目的を知る (認識)	▼3-070 コマーシャルを企画し、画像や映像で表現する (行動)				
	▼2-080 実際のコマーシャルが、何を伝えようとしているのかを考える (思考)	▼3-080 情報に言まれる発信者のメッセージ (主張や願い) を感じ取る (判断)				
		▼3-090 映像の流れを、場面を要点をとらえながら読み取ることができる (思考)				
		▼3-100 映像を見て発信者の意図を考える (思考判断)				

C13 ●情報の安全な運用				
a【自分たちを守る】				
C13a1:知らない人に、連絡先を教えない	C13a2:個人の情報は、他人にもらさない	C13a3:現実におこりうる危険および、適切な対応法を知る	C13a4:自分や家族の情報を守りながら、ネットワークを有効に活用する知識を持つ	C13a5:自他の情報の安全な取り扱いに関して、正しい知識を持ち、行動できる
▼1-010 かってきた電話への対応を、疑似体験する (体験)	▼2-010 個人情報の大切さを知る (認識)	▼3-010 ネットで知り合った人に、子どもだけで会いに行かない (認識)	▼4-010 ネットワークを通じて知った人に関する情報は、虚偽である場合もあることを知る (認識)	▼5-010 ネットオークションでの問題点を知り、適切に対処できる (行動)
▼1-020 個人的な質問への、適切な回答方法を知る (認識)	▼2-020 掲示板・ブログやチャットなどの危険性や安全な利用方法を知る (認識)	▼3-020 ウィルスの危険性を理解し、危険を避ける方法を知る (認識)	▼4-020 家庭内LANの働きを知る (認識)	▼5-020 ネットショッピングでの問題点を知り、適切に対処できる (行動)
	▼2-030 安易な個人情報の発信の危険性を理解し、避けることができる (行動)	▼3-030 ネットワーク上には、違法なものも合法なものも混在していることを知る (認識)	▼4-030 セキュリティの大切さ意識する (認識)	▼5-030 匿名性の危険を理解しつつ、適正な距離を保ってコミュニケーションできる (行動)
	▼2-040 パスワードは人に教えない、また尋ねない (行動)	▼3-040 出会い系、詐欺、成りすましの問題点や犯罪性を知り、避ける方法がわかる (認識)	▼4-040 暗号化通信技術を使って、安全に情報通信を行う (https、SSLなど) (知識理解)	▼5-040 安全なサイトかどうかを評価しながら、適切に利用していくことができる (行動)
	▼2-050 友人の個人的な情報は、本人の了解のもとに伝える (行動)	▼3-050 犯罪に巻き込まれないための配慮や注意点を知る (認識)	▼4-050 ネットワーク上で知り合った人とは、オフラインで合わない (行動)	
		▼3-060 見知らぬ人からの添付ファイルは開かない (行動)		
		▼3-070 興味本位でファイルをダウンロードしない (行動)		
b【危険からの回避】				
C13b1:大人と一緒に使い、危険に近づかない	C13b2:不適切 (危険) な情報に出合ったときは、大人に意見を求め、適切に対応する	C13b3:危険 (あるいは不適切) なものを予測したら、自制する	C13b4:現実にある危険や迷惑、その回避方法、遭遇した際の対応法などを知る	C13b5:トラブルに遭遇したとき、さまざまな方法で解決できる知識と技術を持ち行動できる
▼1-010 子どもだけでインターネットを利用しない (行動)	▼2-010 ウィルスの危険性を理解する (認識)	▼3-010 匿名性の利点と危険性を知る (認識)	▼4-010 ネットワーク上の犯罪を取り締まる仕組みや方法を知る (認識)	▼5-010 リスクに対して適切な判断をし、行動を選択する (知識理解)
▼1-020 不適切な情報に出合わない環境で利用する (行動)	▼2-020 情報の中には、モラルに反するものや誤ったものがあることを知る (認識)	▼3-020 子どもだけでネットで物を買ったり売ったりしない (行動)	▼4-020 有益な情報と有害な情報があることを知った上でインターネットを利用できる (知識理解)	▼5-020 ネットワーク上の犯罪の手法を知り、犯罪から身を守る (知識理解)
▼1-030 トラブルに巻き込まれたら、一人で悩まず、先生や親の人に相談する (行動)	▼2-030 不適切なHPにアクセスした時にどのような対応をとればよいか分かる (知識理解)	▼3-030 ネットワーク上に情報が流出する原因には、どのような事例があるかを知る (認識)	▼4-030 トラブルに会ったときに、発生原因を考えることができる (知識理解)	▼5-030 トラブルや犯罪に対応する社会的な仕組みを理解し、適切に利用する (思考判断)
	▼2-040 見知らぬ人からのメールは、大人に知らせる (行動)	▼3-040 どのようなメールが、迷惑メールやチェーンメールと呼ばれるか判断できる (認識)	▼4-040 ネットワーク上で起ったトラブルや危険な事例について、説明できる (知識理解)	▼5-040 危険性があるものを察知し、事前に回避しようとする (態度)
	▼2-050 変なメッセージを受け取ったり、おかしなページが表示されたら、すぐ大人に知らせる (行動)	▼3-050 チェーンメールは受け取っても、送らないという判断をすることができる (認識)	▼4-050 中・高校生が遭遇しそうな犯罪の手法を知り、巻き込まれないようにする (行動)	
		▼3-060 危険度の高いメールを判断し対処できる、知識を身につける (認識)		
		▼3-070 Web上での危険で有害な情報に対し、適切な対応ができる (知識理解)		
		▼3-080 たくさんの情報の中から危険 (有害)情報を分別して回避する (行動)		
		▼3-090 危険 (有害) 情報に出会ったときは、大人に意見を求め、適切に対応する (行動)		
c【心身の健康】				
C13c1:決められた利用の時間や約束を守る	C13c2:健康のために利用時間を決め守る	C13c3:健康を害するような行動を自制する	C13c4:健康の面に配慮した、情報メディアとの関わり方を意識し、行動できる	C13c5:健康の面に配慮した、情報メディアとの関わり方を意識し、行動できる
▼1-010 保護者と、利用時間や使い方について話し合う (相談する) (行動)	▼2-010 健康のために決めた利用時間を守る (行動)	▼3-010 情報メディア (パソコン・ゲーム機) の利用は、依存を生みやすいことを知る (認識)	▼4-010 情報メディアの使い方を誤ると、心身の健康に、問題が起きることを知る (認識)	▼5-010 自ら適切な時間を設定し、健康に配慮しながら行動できる (思考判断)
▼1-020 インターネットの利用時間を決めて使うことができる (行動)		▼3-020 長時間、情報メディアを利用し続けると健康上の問題が生じることを理解し、行動できる。 (行動)	▼4-020 情報メディアを利用するときは、精神的・身体的に負担がかかり過ぎないように注意して行動する (行動)	
			▼4-030 不必要な時には情報メディアを遠ざけることができる (行動)	

2. 情報システムと社会	C21	●情報社会の進展と情報技術			
		a【社会における情報システム】			
		C21a2:身の周りの情報システムの種類や特徴を意識する ▼2-010 スイカ等のカードの仕組みに興味を持つ (認識) ▼2-020 スーパーなどのPOSの働きに興味を持つ (認識)	C21a3:情報システムの目的や特徴、役割がわかる ▼3-010 通信・コミュニケーション手段の情報化の歴史を知る (認識) ▼3-020 SNSやブログなどの身近なコミュニケーションツールのはたらきをわかる (認識) ▼3-030 社会における情報システムの特徴や役割がわかる (認識) ▼3-040 カーナビゲーションの仕組みに興味を持つ(概要を知る) (認識)	C21a4:情報システムが社会生活に与える影響を知る ▼4-010 暮らしや仕事に使われる情報システムやネットワーク、ロボットの仕組みや役割を知る (認識) ▼4-020 ETCの仕組みに興味を持つ (概要を知る) (認識) ▼4-030 社会で利用されるようになった新しい情報システムについて、関心を持つ (認識) ▼4-040 各分野で構築されている情報システムの種類、目的や特徴などについて理解する (知識理解)	C21a5:利用しやすい情報システムの構築のための情報技術について知る ▼5-010 人間にとって利用しやすい情報技術について知る。(認識) ▼5-020 情報システムやネットワーク、ロボットの役割を考え、それらを活用しようとする (行動) ▼5-030 情報システムとそのサービスを、情報の流れや処理の仕組みと関連付けながら理解する (知識理解) ▼5-040 情報システムのサービスが停止した場合の影響などについて考える (思考判断)
		b【社会が情報・情報技術に与える影響】			
		C21b2:コンピュータやネットワークが、日常生活に活用されていることに気づく ▼2-010 ネットワークやコンピュータが日常生活に欠かせないものになってきたことを知る (認識)	C21b3:人間の生活をより便利にするために情報や情報技術が進歩してきたことを知る ▼3-010 生活の道具の情報化の歴史を知る (認識) ▼3-020 社会システムの情報化の歴史を知る (認識) ▼3-030 身近な情報システム (生活・購入・街・学習等)を知り、その役割を考える (認識)	C21b4:情報化により仕事や社会がどのように変化してきたかを知る ▼4-010 社会を支えている情報システムについて知る (認識) ▼4-020 マスメディアの産業構造や特徴を説明できる (知識理解) ▼4-030 社会生活の中でのロボットシステムの役割や働きを理解する (知識理解) ▼4-040 身近な情報システム (生活・購入・街・学習等)の仕組みを理解する (知識理解) ▼4-050 情報社会の利便性を説明することができる (知識理解)	C21b5:社会の変化と情報技術の進展は、ともに影響し合いながら進歩していくことを理解する ▼5-020 情報システムがネットワークと連携されることにより、広域な情報システムとして活用されていることがわかる (知識理解) ▼5-030 コミュニケーション手段の発達を、その変遷と関連付けて理解する (知識理解) ▼5-040 社会を支えている情報システム (経済・医療・教育等)の仕組みを理解する (知識理解) ▼5-050 情報システムが社会生活に果たしている役割と及ぼしている影響について理解する (知識理解) ▼5-060 情報社会の将来について想像し、自分の考えを持つ (知識理解) ▼5-070 情報システムの導入が社会生活にどのような影響を与えてきたかなどを利用者の面から考える (思考) ▼5-080 人間にとって利用しやすい情報システムの在り方を考える (思考判断)
		c【情報社会の課題と問題解決】			
			C21c3:情報化により生活がどのように変化してきたかを知る ▼3-010 身の回りの情報化に気づく (認識) ▼3-020 セキュリティ技術の大切さを意識する (認識)	C21c4:格差の是正や弱者支援のために情報・情報技術が進歩してきたことを知る ▼4-010 情報技術が身体の不自由な人の役に立つことを知る (認識) ▼4-020 情報技術の格差が社会に与える影響を知る (認識) ▼4-030 ネットワーク上で生じた犯罪や大きなトラブルを知る (認識) ▼4-040 ネットワークにおけるアクセスビリティを理解する (知識理解)	C21c5:情報化の光と影の部分について検討し、問題解決の方法を考える ▼5-010 様々な格差が情報格差を生むことを理解する (知識理解) ▼5-020 サイバー犯罪や情報格差など情報化の影の部分の実態を理解する (知識理解) ▼5-030 情報社会はシステムが動かしているのではなく、人の判断によって動いているということを理解する (思考判断) ▼5-040 アクセシビリティに配慮した情報技術の在り方を考える (思考判断) ▼5-050 情報社会の問題点を知り、解決策を考察することができる (思考判断)
		C22 【情報社会への望ましい参画】			
		C22-2:情報を共有することの大切さがある ▼2-010 (ネット社会でも普段の生活でも)他の人との関わり方を大切にしよう (行動) ▼2-020 情報の提供に対し、感謝と助け合いの気持ちを持つ (行動)	C22-3:ネットワークを情報共有やコミュニケーションのために活用する ▼3-010 望ましい情報社会の創造について、友達と意見交換する (体験) ▼3-020 人権侵害や社会のルールを破る行為は、いけないことだとわかる (認識) ▼3-030 自分が発信したメールが他者や社会にどのように影響を及ぼすか知る (認識) ▼3-040 匿名性の特性を知る (認識) ▼3-050 受け手の気持ちや状況を考え、情報を発信する (認識)	C22-4:情報社会の一員として、公共的な意識を持つ ▼4-010 発信された情報が他人に影響を与えることを理解する (認識) ▼4-020 インターネット上での情報発信は、社会に影響を及ぼすことがある (知識理解) ▼4-030 ネットワークに正確でない情報を流してはいけない理由を説明できる (知識理解) ▼4-040 情報の発信及び発信時に配慮すべき事項がわかる (知識理解) ▼4-050 ユニバーサルデザインの考え方を理解する (知識理解)	C22-5:情報社会の一員として、公共的な意識を持ち、適切な判断や行動ができる ▼5-010 情報セキュリティの確保のための情報セキュリティポリシーについて知る (認識) ▼5-020 情報通信ネットワークの特性を踏まえた、効果的なコミュニケーションの方法を知る (知識理解) ▼5-030 ネットワーク上のコミュニティに、適切に参加や運営ができる (意識・ルール) (行動) ▼5-040 情報通信ネットワークを活用して様々な意見を提案し集約するための方法について考える (思考) ▼5-050 情報セキュリティを高めるために技術的対策だけでは不十分な理由について、情報社会で実際に起きている具体的な問題や脅威を例に考える (思考判断) ▼5-060 自分の発信した情報の影響を評価し、必要な改善を行う (思考判断) ▼5-070 情報技術の悪用を見逃さない (態度)
			C22-3:ネットワークを情報共有やコミュニケーションのために活用する ▼3-010 望ましい情報社会の創造について、友達と意見交換する (体験) ▼3-020 人権侵害や社会のルールを破る行為は、いけないことだとわかる (認識) ▼3-030 自分が発信したメールが他者や社会にどのように影響を及ぼすか知る (認識) ▼3-040 匿名性の特性を知る (認識) ▼3-050 受け手の気持ちや状況を考え、情報を発信する (認識)	C22-4:情報社会の一員として、公共的な意識を持つ ▼4-010 発信された情報が他人に影響を与えることを理解する (認識) ▼4-020 インターネット上での情報発信は、社会に影響を及ぼすことがある (知識理解) ▼4-030 ネットワークに正確でない情報を流してはいけない理由を説明できる (知識理解) ▼4-040 情報の発信及び発信時に配慮すべき事項がわかる (知識理解) ▼4-050 ユニバーサルデザインの考え方を理解する (知識理解)	C22-5:情報社会の一員として、公共的な意識を持ち、適切な判断や行動ができる ▼5-010 情報セキュリティの確保のための情報セキュリティポリシーについて知る (認識) ▼5-020 情報通信ネットワークの特性を踏まえた、効果的なコミュニケーションの方法を知る (知識理解) ▼5-030 ネットワーク上のコミュニティに、適切に参加や運営ができる (意識・ルール) (行動) ▼5-040 情報通信ネットワークを活用して様々な意見を提案し集約するための方法について考える (思考) ▼5-050 情報セキュリティを高めるために技術的対策だけでは不十分な理由について、情報社会で実際に起きている具体的な問題や脅威を例に考える (思考判断) ▼5-060 自分の発信した情報の影響を評価し、必要な改善を行う (思考判断) ▼5-070 情報技術の悪用を見逃さない (態度)
	C22-3:ネットワークを情報共有やコミュニケーションのために活用する ▼3-010 望ましい情報社会の創造について、友達と意見交換する (体験) ▼3-020 人権侵害や社会のルールを破る行為は、いけないことだとわかる (認識) ▼3-030 自分が発信したメールが他者や社会にどのように影響を及ぼすか知る (認識) ▼3-040 匿名性の特性を知る (認識) ▼3-050 受け手の気持ちや状況を考え、情報を発信する (認識)	C22-4:情報社会の一員として、公共的な意識を持つ ▼4-010 発信された情報が他人に影響を与えることを理解する (認識) ▼4-020 インターネット上での情報発信は、社会に影響を及ぼすことがある (知識理解) ▼4-030 ネットワークに正確でない情報を流してはいけない理由を説明できる (知識理解) ▼4-040 情報の発信及び発信時に配慮すべき事項がわかる (知識理解) ▼4-050 ユニバーサルデザインの考え方を理解する (知識理解)	C22-5:情報社会の一員として、公共的な意識を持ち、適切な判断や行動ができる ▼5-010 情報セキュリティの確保のための情報セキュリティポリシーについて知る (認識) ▼5-020 情報通信ネットワークの特性を踏まえた、効果的なコミュニケーションの方法を知る (知識理解) ▼5-030 ネットワーク上のコミュニティに、適切に参加や運営ができる (意識・ルール) (行動) ▼5-040 情報通信ネットワークを活用して様々な意見を提案し集約するための方法について考える (思考) ▼5-050 情報セキュリティを高めるために技術的対策だけでは不十分な理由について、情報社会で実際に起きている具体的な問題や脅威を例に考える (思考判断) ▼5-060 自分の発信した情報の影響を評価し、必要な改善を行う (思考判断) ▼5-070 情報技術の悪用を見逃さない (態度)		
	C22-3:ネットワークを情報共有やコミュニケーションのために活用する ▼3-010 望ましい情報社会の創造について、友達と意見交換する (体験) ▼3-020 人権侵害や社会のルールを破る行為は、いけないことだとわかる (認識) ▼3-030 自分が発信したメールが他者や社会にどのように影響を及ぼすか知る (認識) ▼3-040 匿名性の特性を知る (認識) ▼3-050 受け手の気持ちや状況を考え、情報を発信する (認識)	C22-4:情報社会の一員として、公共的な意識を持つ ▼4-010 発信された情報が他人に影響を与えることを理解する (認識) ▼4-020 インターネット上での情報発信は、社会に影響を及ぼすことがある (知識理解) ▼4-030 ネットワークに正確でない情報を流してはいけない理由を説明できる (知識理解) ▼4-040 情報の発信及び発信時に配慮すべき事項がわかる (知識理解) ▼4-050 ユニバーサルデザインの考え方を理解する (知識理解)	C22-5:情報社会の一員として、公共的な意識を持ち、適切な判断や行動ができる ▼5-010 情報セキュリティの確保のための情報セキュリティポリシーについて知る (認識) ▼5-020 情報通信ネットワークの特性を踏まえた、効果的なコミュニケーションの方法を知る (知識理解) ▼5-030 ネットワーク上のコミュニティに、適切に参加や運営ができる (意識・ルール) (行動) ▼5-040 情報通信ネットワークを活用して様々な意見を提案し集約するための方法について考える (思考) ▼5-050 情報セキュリティを高めるために技術的対策だけでは不十分な理由について、情報社会で実際に起きている具体的な問題や脅威を例に考える (思考判断) ▼5-060 自分の発信した情報の影響を評価し、必要な改善を行う (思考判断) ▼5-070 情報技術の悪用を見逃さない (態度)		

3. 情報社会における規範	C31	●情報社会での倫理と法の理解				
		a【情報社会での倫理】				
		C31a1:嘘をつかない	C31a2:良いこと・悪いこと、人に迷惑をかけることの区別ができ、悪いことや人に迷惑をかけることはしない	C31a3:社会における常識的な行動を知り、自分の行動を振り返る	C31a4:自分の欲求や興味と、情報社会における責任や義務などを考え合わせ、適切な行動する	C31a5:情報社会の望ましい一員として、自律して行動する
		▼1-010 行動の善悪が、わかる (認識)	▼2-010 ネット上の情報の中にも、モラルに反するものがあることを知る (認識)	▼3-010 ネット上の迷惑行為にどのようなものがあるかを知る (認識)	▼4-010 興味本位で、ネットワーク上の情報にアクセスしない (行動)	▼5-010 自律して、善悪の判断を行える (知識理解)
		▼1-020 人と接するときのルール・マナーを知る (認識)	▼2-020 相手や全体の場を考えた言葉遣いで、情報交換することができる (認識)	▼3-020 チェーンメールが社会に与える影響を知る (認識)	▼4-020 ネット上の迷惑行為は、行わない (行動)	▼5-020 情報技術を悪用しない (態度)
		▼1-030 コンピュータやメディアを使う場合に、決められているルールを守る (行動)	▼2-030 適切な行動が何か、判断できる (知識理解)	▼3-030 携帯電話の利用マナーを知る (認識)	▼4-030 携帯電話の利用マナーを守る (行動)	▼5-030 自分の判断に則し、責任持って行動する (態度)
		▼1-040 みんなで決めた約束や決まりをまもる (行動)	▼2-040 ネットワークで誹謗中傷を行わない (行動)	▼3-040 ネットワーク上には、適切な情報と不適切な情報が混在していることを知る (認識)	▼4-040 違法な行為に対し、誘われてもNoと言える (態度)	
		▼1-050 うそをついたりごまかしたりしない (行動)	▼2-050 受け手の気持ちを考えて情報発信する (行動)	▼3-050 掲示板などに書き込まれた内容の善し悪しについて判断することができる (知識理解)		
			▼2-060 情報発信や情報のやり取りの場合のルールやエチケットを知り、守る (行動)	▼3-060 ルールやエチケットを守らない事例を知り、何が良くないのかを考える (知識理解)		
				▼3-070 ネットいじめの現状と影響を考える (知識理解)		
				▼3-080 チェーンメールや迷惑メールなどを、転送したり発信したりしない (行動)		
				▼3-090 モラルに反する情報に対し、批判的な対応ができる (行動)		
				▼3-100 自分の行動が相手や場にどのような影響を与えるかを意識する (行動)		
				▼3-110 メール送信は相手への影響を考えて、発信内容や方法に責任をもつ (態度)		
		b【個人情報の保護】				
		C31b1: (自分や家族・知人の) 個人情報は、他人にもらさない	C31b2: 個人の権利 (プライバシー、人格権、肖像権など) を尊重する	C31b3: 個人情報は法律で保護されていることを知る	C31b4: 個人情報の保護に関する法律の内容を知る	C31b5: 個人情報の保護に関する法律の内容を理解し、適切に行動する
		▼1-010 聞かれた時、答えていい相手かどうか分かる (認識)	▼2-010 友だちや家族の個人情報の扱い方を知る (認識)	▼3-010 どのような情報が個人情報であるかわかる (認識)	▼4-010 個人情報保護法や個人情報の取り扱いの概要を知る (認識)	▼5-010 個人情報保護の考え方を理解し、それに則して情報の取り扱いができる (行動)
		▼1-020 友だちや自分の個人情報を大切ににする (行動)	▼2-020 写真を撮影する時のマナーを知る (認識)	▼3-020 個人情報の取り扱いに関する基本的な考え方を知る (認識)	▼4-020 個人情報の保護に配慮して情報発信することができる (行動)	
		▼1-030 大人に聞かれても、個人の情報は伝えない (行動)	▼2-030 撮影した写真の扱い方のルールを知る (認識)	▼3-030 掲示板・ブログやチャットなどで個人情報を漏らさないよう意識する (行動)		
				▼3-040 情報発信の際に、個人情報の取り扱いを意識する (行動)		
c【著作権への配慮・保護】						
C31c1: 人や自分が作ったものを大切に	C31c2: 真似・コピーと、オリジナル (創意・工夫) の違いを知る	C31c3: 著作権は法律で保護されていることを知る	C31c4: 著作権に関する法律の内容を知る	C31c5: 著作権に関する法律の内容を理解し、適切に行動する		
▼1-010 自分の作ったものと友だち (他者) の作ったものを、区別して認識する (認識)	▼2-010 Webコンテンツを利用する際のルールや注意事項を知る (認識)	▼3-010 著作物とはどのようなものかを判断することができる (認識)	▼4-010 知的財産権 (著作権・特許等) の基本的な考え方を知る (認識)	▼5-010 著作権保護法の概要 (および考え) を理解する (知識理解)		
▼1-020 自分の作ったものと同じように、友だち (他者) の作ったものを大切に扱う (行動)	▼2-020 引用・流用をする際のルールを知る (認識)	▼3-020 著作物には、著作権があることを知り、尊重する (認識)	▼4-020 著作権保護法の概要を知る (認識)	▼5-020 国際社会における著作権の重要性を理解する (知識理解)		
	▼2-030 自分のデータと友だち (他者) のデータを区別して扱う (行動)	▼3-030 他人の情報を利用するときは、だれの情報をきちんと書く (必要なら許可を得る)。 (行動)		▼5-030 知的財産権を尊重し、ルールに則した取り扱いができる (態度)		
	▼2-040 著作物は、勝手にコピーしない (行動)					
	▼2-050 引用・流用を意識して行う (行動)					
d【契約や法の理解】						
		C31d3: 「ルールやきまりを守る」ことの社会的意味を知り、尊重する	C31d4: 情報の保護や取り扱いに関する基本的なルールや法律の内容を知る	C31d5: 情報の保護や取り扱いに関する法律の内容を理解し、順守する		
		▼3-010 「はい」や「同意」のボタンは、むやみに押さない (認識)	▼4-010 (保護者の同意の下で) 安全な手段で購入するプロセスを知る (認識)	▼5-010 産業財産権など経済活動上でも存在する権利を知る (認識)		
		▼3-020 子どもだけでなく、「もの」を売ったり買ったりしない (認識)	▼4-020 出会い系サイト規制法案を、正しく理解する (知識理解)	▼5-020 特定商取引に関する法律の意図を理解する (知識理解)		
		▼3-030 契約行為の意味を知り、勝手な判断で行わない (認識)	▼4-030 契約の基本的な考え方を知り、それに伴う責任を理解する (知識理解)	▼5-030 情報に関する法律の内容の妥当性を、検討する (思考判断)		
		▼3-040 ルールがなかったらどうなるか (集団におけるルールの役割) を考え、おける契約の意味がわかる (知識理解)	▼4-040 ソフトウェアや情報サービスにおける契約の意味がわかる (知識理解)	▼5-040 違法な情報や、違法な売買 (違法行為) が何かを知り、利用しなかったりしない (態度)		
		▼3-050 情報社会でのルール・マナーを遵守できる (行動)	▼4-050 ルール・マナーと法律との違いを知る (知識理解)	▼5-050 ネットワーク上での違法な助法を知り、関わらないようにする (態度)		
				▼5-060 契約の内容を正確に把握し、適切に行動する (態度)		
				▼5-070 ソフトウェアや情報サービスにおける契約の意味を知り、遵守できる (態度)		